

第二次佐久市総合計画前期基本計画進行管理について

1 第二次佐久市総合計画の構成

(1) 基本構想（平成 29 年度～令和 8 年度）

時代の潮流や本市の特徴を踏まえ、10 年先の将来に向けてのまちづくりの基本理念と目指すべき将来都市像を明らかにし、それを実現するための施策の大綱を定めた長期的なまちづくりの指針となるもの。

佐久市の将来都市像

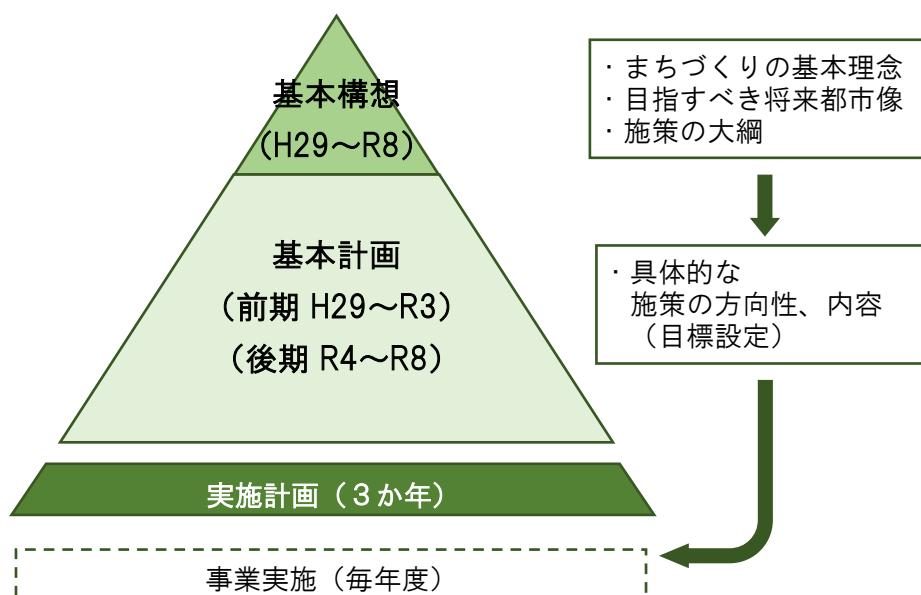
「快適健康都市 佐久」
～希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

(2) 基本計画（10 年間、5 年間経過後に見直し）

基本構想の施策の大綱に基づき、その基本理念と将来都市像を実現するために、実施すべき具体的な施策の方向性と内容を示した中期的な計画。

社会経済情勢の変化や新たな市民ニーズに対応するため、5 年経過後に後期の基本計画を策定。

○前期基本計画（平成 29 年度～令和 3 年度）



2 前期基本計画の進行管理

前期基本計画は、5つの重点プロジェクトにおけるプロジェクト目標と、施策毎の施策目標を設定しており、これら施策等の進捗状況に対して進捗状況評価を実施し、その結果を来年度以降の施策へ反映する。

3 進行管理方法

(1) プロジェクト目標（総合計画 50～52 ページ）

ア プロジェクト目標の設定

前期基本計画では将来都市像の実現を目指し、施策横断的に取り組む5つの重点プロジェクトを掲げ、各重点プロジェクトに成果指標としてプロジェクト目標を設定している。

1 重点プロジェクト「安定して働き続けることができるまち」

プロジェクト目標：市内事業所の従業者数【経済センサス】

現状値（H26）	目標値（R2）
40,203人	41,500人

2 重点プロジェクト「多くの人に選ばれることができるまち」

プロジェクト目標：人口の社会動態（計画期間の累計）【長野県毎月人口異動調査】

現状値	目標値（H29～R3 累計）
—	1,000人

3 重点プロジェクト「安心して結婚し、子どもを生み育てることができるまち」

プロジェクト目標：合計特殊出生率【佐久市調】

現状値（H27）	目標値（R3）
1.52	1.74

4 重点プロジェクト「安心して暮らし続けることができるまち」

プロジェクト目標：「佐久市は住みやすいと」回答する人の割合【市民アンケート】

現状値（H28）	目標値（R3）
78.7%	80%

5 重点プロジェクト「健やかに暮らし続けることができるまち」

プロジェクト目標：健康寿命【佐久市調】

現状値（H26）	目標値（R2）
男性 79.89歳 女性 84.32歳	男性 延伸 女性 延伸

※ 重点プロジェクト目標は「第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標とリンクしています。

ただし、5の「健やかに暮らし続けるまち」は、総合計画の策定時に総合戦略の基本目標になかった“健康長寿”の視点を追加しています。

イ プロジェクト目標の進捗状況評価

プロジェクトの進捗状況について、各所管課が総合分析を実施の上、今後の方針を示す。

例【4 重点プロジェクト：「安心して暮らし続けることができるまち」】

基本目標1 「選ばれる暮らしやすさを更に高める、佐久市における『まち』の創生」

数値目標の進捗状況

指標名	年度別評価	R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)	単位	
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		78.4	78.8	79.2	79.6	80.0	%	
	実績値	78.0							
	進捗区分								
総合分析	基本目標④の数値目標は、満足度・重要度市民アンケートに基づき設定しています。 「『佐久市は住みやすい』と回答する人の割合」について、R1実績値を見ると「概ね達成」なりました。施策と住みやすさの相関を見ると、「住みやすい」と回答した人の評価が高い施策として、「高速交通ネットワーク」、「医療」、「消防・救急」が上位を占めている一方で、「住みににくい」と回答した人の評価が低い施策としては、「林業」、「行政財政改革」、「ひとり親家庭支援・低所得者福祉」が上位を占める結果となりました。 本市の卓越性として、高速交通網の充実や医療福祉の充実、健康長寿などに代表される「暮らしやすさ」が挙げられ、この卓越性を具現化する施策に関しては満足度が高くなっている一方、その他の施策については、半分以上の市民が満足していない状況にあります。 基本目標に係る重要業績評価指標（KPI）は、17項目のうち、R1（最終年度）では、「達成」及び「概ね達成」が14項目、「未達成」が3項目となりました。 ※満足度・重要度市民アンケートはH29年度まで隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります（H30年度以降は毎年度実施）。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
R3の取組方針	住民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに安心して暮らし続けていくためには、それを支える「まち」が重要であり、第1期総合戦略から進める活力ある「まち」の創生に向けた施策に引き続き取り組む必要があります。また、第1期総合戦略で明らかとなった、満足度の低い施策の充実にも応える必要があります。 本市への移住の傾向や移住者の意向からは、「しごと」や「ひと」の創生に基づく動機に加えて、豊かな自然、快適な気候、高速交通網の充実、災害の少なさ、健康長寿といった特徴がもたらす「暮らしやすさ」など、「まち」の魅力が移住の動機となった例が多数確認されています。 第2期総合戦略では、本市の卓越性に磨きをかけて、「まち」の魅力を更に高みに押し上げることにより「ひと」や「しごと」を呼び込む、「まち」起点の取組を強化するとともに、「まち」の創生を基本目標の筆頭に据えて推進します。								

14

※ 総合戦略の基本目標の進捗状況評価として実施

(2) 施策目標（総合計画 58 ページ～169 ページ）

ア 施策目標の設定

基本計画における全49施策毎に市民アンケートによる市民満足度指数を目標値として設定している。第二次佐久市総合計画の基本理念である「市民の実感から始まり、実感に結びつくまちづくり」に基づき市民の満足度を目標とした。

例：施策名「学校教育」



※ 市民アンケートによる満足度指数

市内に在住する 16 歳以上の男女 1,000 人を対象に調査したもの。「満足」を 5 点、「やや満足」を 4 点、「どちらでもない」を 3 点、「やや不満」を 2 点、「不満」を 1 点として平均点を集計。

イ 施策目標の進捗状況評価

総合計画の基本計画に示された 49 の施策への取組による実績・成果の達成状況と、施策目標を達成するための今後の取組について検討する。

市の行政評価システムの一部（施策評価）として実施し、各所管課がそれぞれの施策について、施策の進捗状況、今後の方針等を示す。

4 総合計画審議会での審議について

「前期基本計画における施策の進捗状況や取組に関する事項」について意見を求める旨の本審議会への諮問に基づき、同計画が定めるプロジェクト目標と 49 の施策目標の進捗状況評価についてご意見をいただく。

プロジェクト目標の進捗状況評価については、目標が「第 2 期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標、KPI と同じであるため、先行して行う総合戦略の進行管理にて審議を行う。

施策目標については、施策の進捗状況、今後の方針について各課が分析したものについて、今後、市民の満足度を上げるためにどのような取組を行ったら良いのか意見し、前期基本計画の進行管理のまとめを行う。

5 部会設置

審議の円滑化のため、進行管理の詳細は、3 部会にて審議する。

	部会名	第二次佐久市総合計画前期基本計画担当箇所(主な分野)
ア	第 1 部会	第 1 章（教育、文化、生涯学習）
		第 6 章（防災、交通安全、防犯）
		第 7 章（協働、行財政、交流分野）
イ	第 2 部会	第 2 章（交通、都市基盤整備）
		第 3 章（農業、商工業、観光、雇用）
ウ	第 3 部会	第 4 章（保健、福祉、子育て支援）
		第 5 章（自然環境、生活環境、上下水道）

6 審議スケジュール

概ね下図のスケジュールにて実施

